



滋賀陸協広報

一般財団法人 滋賀陸上競技協会
〒520-0037 大津市御陵町4-1 皇子山陸上競技場内2-1室
Tel/fax077-527-3925 <http://srkshiga.com>

2024滋賀国民スポーツ大会まであと5年

一般財団法人滋賀陸上競技協会
会長 奥村展三

平成から令和への歴史に残る年度を迎え、早や3ヶ月が経ち、滋賀陸上競技協会も役員の改選等を踏まえ、新しい組織で新しい人選により、2024滋賀国民スポーツ大会での天皇杯総合では入賞を目指して戦えるまでの組織・選手作りに邁進するつもりであります。

①2024年に勝てる選手の発掘であります。特に、成年の部では、現役として活躍している選手を発掘しなければ成りません。選手に罹るプレッシャーは厳しく、それを超える選手でなければ入賞は難しいからだと考えています。

②ジュニアの強化は、はっきりしています。現中学1年、小学校6年を中心にした中高連携の中で育てていかなければ成りません。課題としては、中学も高校も現状を考えると、指導者は、変わりません。すると、過去の実績から考えると滋賀の国民スポーツ大会で入賞できる選手を育てるのは並々ならぬ覚悟が必要となってきます。強化に関しては早急な対応を考えています。

③トレーニングに専心できる環境作りを進める。選手の生活環境の中で充実した環境を作ることです。単に場所の問題でなく、精神的・身体的・経済的にケアできる環境のことです。

あと5年ですが、3年前にはこれらの条件が一つになるようにします。

さて、日本陸上競技連盟が「登録」「成績処理(リザルト)」について現状と将来について、考えていることを紹介します。簡単に言えば、『登録情報を完全データ管理することから、個人IDを利用して、競技運営や記録集計などの情報提供に活用するということ』改革の意義は、簡単な登録申請、WEBシステム利用による簡単な大会エントリー、記録の管理と可視化、等々といったところでしょうか。滋賀陸協事務局では、本年度後半には、個人の登録は、アールビーズのモシコムを活用した登録システムにする予定です。

最後に、「急いで事はし損じる」ということわざがありますが、残された年は少ないですが、連携と話し合いの場を尊重しながら、我田引水にならないよう頑張っていただきたく、広報第4号の発行にあたっての挨拶いたします。

【 各委員会の紹介 】

滋賀陸協には12の専門委員会があります。各委員会の活動内容を紹介します。

◀ 総務委員会 ▶

登録に関する業務、栄章に関する業務、理事会等の会議に関する業務、年鑑の編集など協会の運営がスムーズに運ぶよう取り組んでいます。

《 競技委員会 》

次年度の競技会日程調整や、競技場の使用申し込みを行っています。また日本陸連へ競技会の公認申請を行い、各大会で出された記録が公認されるようにしています。

年間を通して行われる各競技会・記録会の要項を作成し、実施競技種目の検討や競技日程を作成しています。また、プログラム編成会議を開き、各種目の参加人数の確認やシードを行い、プログラムの編成を行っています。各大会当日は、各部署と連携をとりながら、スムーズな競技運営を心がけています。

《 審判委員会 》

公認審判員の確保のため、審判員の育成に取り組んでいます。競技会における役員を編成し、円滑に進められるようにしています。また、審判技術の向上、ルール改正への対応に関して審判講習会を開いています。5年後の滋賀で開催されるスポーツ大会に向け、全国レベルでの審判ができる審判員の養成を実施していきます。

《 強化委員会 》

2024年滋賀国民スポーツ大会まで5年となり、スローガンも、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」と決定しました。陸上競技においても滋賀県代表選手が輝けるよう、天皇杯総合優勝へ向け、強化事業に全力で取り組んでいきたいと思ひます。

さて、先日のアジア陸上競技選手権では、男子100mにおいて桐生祥秀選手が金メダルに輝き、世界リレーにおいても桐生選手を含め、山中日菜美選手・壹岐いちこ選手が出場するなど、活躍の場を滋賀県から世界へと広げてくれています。また日本選手権では、男子100m桐生選手の2位をはじめ、滋賀県の選手8名が入賞を果たしました。この結果、ドーハ世界選手権にも数名が代表候補選手となっています。今後も多くの滋賀県代表選手が活躍してくれることを期待しています。

今年度の国体は、10月4日(金)～8日(火)にかけて茨城県で開催されます。各カテゴリーの全国大会予選が開催されるなか、昨年度の天皇杯21位を上回る結果を求めて強化を進めていきたいと思ひます。令和元年のシーズンが、滋賀県代表選手にとって最高の1年となり、本協会の躍進の年になるよう、強化を進めていきたいと思ひます。

《 普及委員会 》

近年、クラブチームの活動が活発になり、小学生から陸上競技に取り組む子どもが増えてきました。今年度より、全国小学生陸上競技交流大会の種目に変更され、混成種目が設けられました。子どもたちが多様な種目に取り組めるようサポートしていきたいと思ひます。

《 記録委員会 》

競技会における公認記録の集計、大会の順位の整理、記録表の作成などを通して、年鑑に載せるランキングを作成しています。近年、記録データの整理が迅速化し、大会(記録会)当日に記録整理が完成・HP公開への手順が整いつつあります。まだ多くの改善点がありますが、「早く・正確に・公開する」を目指す記録委員会でありたいと思ひます。

また、2024年の国民スポーツ大会に向けて、新システムによる円滑な記録集計ができるよう整備していきます。

《 施設・用器具委員会 》

☆活動内容

①施設用器具委員会全体の活動

- ・県内陸上競技場、ロードレースコースおよび付帯施設・用器具の状況把握。
- ・滋賀県中学駅伝、全日本中学駅伝のコースの距離を計測し、コース全体のレイアウトをします。
- ・全日本クロスカントリー、全日本中学クロスカントリー選手権のコースの距離を計測し、コース全体のレイアウトをします。

・びわ湖毎日マラソン大会のコース設営や、使用用具の点検、準備、物品の調達を行います。また関係業者や団体との折衝、打ち合わせも行います。

②検定員・技術役員・自転車計測員の活動（施設用器具委員会に所属する、日本陸連からの委嘱委員）

ア、検定員、技術役員の役割。

・公認申請指導、施設・設備の検定、競技場公認更新検定（随時） ・日本陸連全国研修会（隔年開催）

イ、自転車計測員の役割。

・ロードレースコース計測 ・日本陸連全国研修会

※陸上競技の好きな人で、協力したいと思う人を求めています。専門的な知識と、作業経験が必要ですが、それは一緒にやる中で十分身に付きます。様々な大会の準備は、主に当該期間の休日に行いますが、都合の合う日時に協力してもらえればいいのです。気軽に滋賀陸協事務局まで連絡をください。

《 医事・トレーナー委員会 》

競技会における安全管理、ドーピングに関する事項、スポーツ医科学サポート事業およびトレーナー派遣事業を行っております。選手の健康管理や生活面に関してサポートし、パフォーマンス向上のため活動していきたいと思っております。

《 地域委員会 》

各地域の活動に対して、現状の分析と課題を検討し、活発な活動となるようにしていきます。若手の人材が不足している現状があります。また施設、財源も厳しい中でクラブチーム、滋賀陸協、地域の体育協会と連携を取りながら活動していきます。

《 広報委員会 》

昨年は3回、広報誌を発行しました。各委員会や関係団体の情報を掲載、滋賀陸協に関する情報を発信しています。2024年の国民スポーツ大会に向けて滋賀陸協の取り組みを紹介していきます。

《 財務委員会 》

滋賀陸協の事業に対して経費を算出し、必要な財源の確保に努めています。厳しい現状にありますが、健全な財政状況にしていきます。

《 女性委員会 》

本年度、新しく設置する委員会です。女性アスリートのサポートができるような委員会にしていきたいと思っております。選手の人数もそうですが、指導者の人数も少ないのが現状です。役員も含め女性が活躍できる方策を考えていきたいと思っております。

【 びわ湖毎日マラソン 】

2020年の「第75回びわ湖毎日マラソン」は3月8日（日）9：15スタートとなります。周知の上、大会が成功しますようにご理解・ご協力お願いいたします。

[編集後記]

新体制でスタートする滋賀陸協です。各委員会の活動を中心に進めていきます。広報第5号は関係団体の競技結果を中心に掲載いたします。